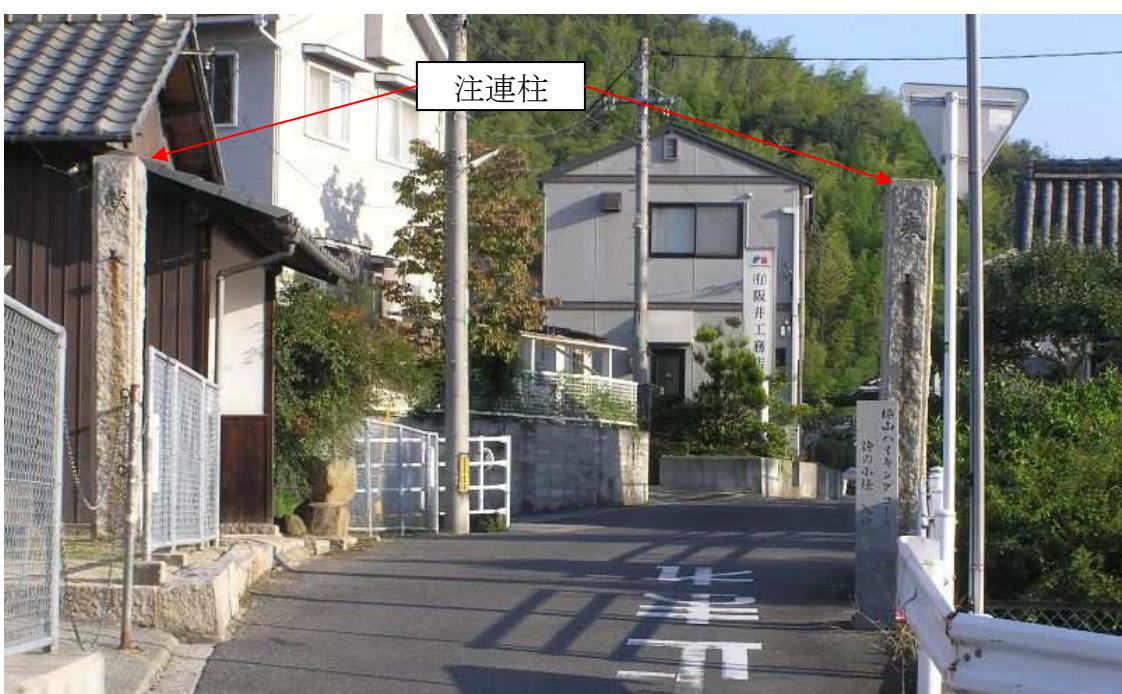


3 出村の石碑 注連柱（しめばしら） 常夜燈 地神様



注連柱



鎮 座 : 岡山市中区海吉 1384 番地（通称「丸端（まるはな）」の市所有地）及び同所東の市道の東路肩部

来 歴 : 吉備津岡辛木神社の参道入り口に位置し、明治 44 年（1911）当所在住の内田寅次氏（現：海吉 1968 内田邦彦氏の先祖）が寄進

材 質 : 花崗岩

形 状 : **注連柱寸法図**（単位：cm）



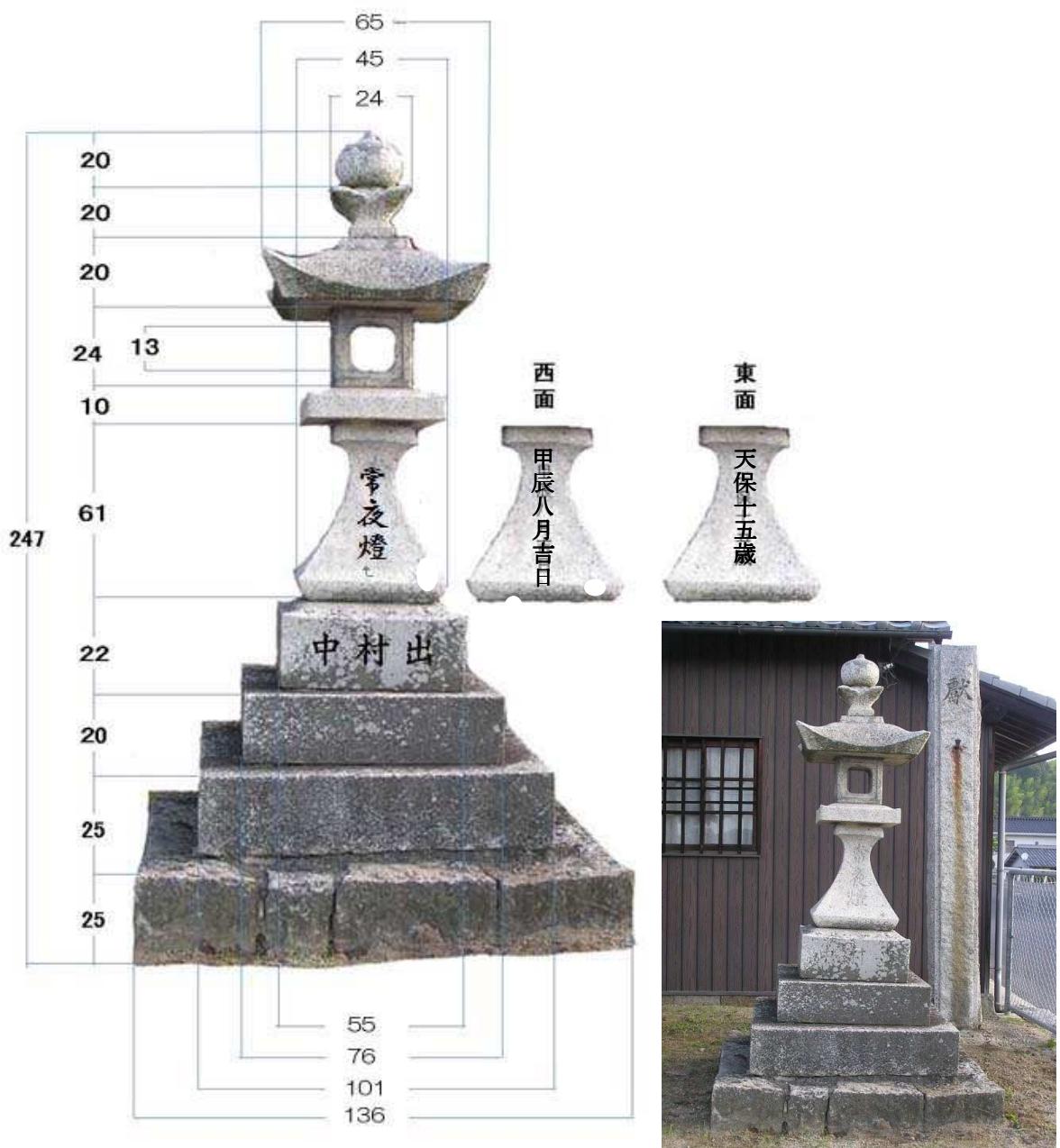
吉備津岡辛木神社の秋季祭礼時の注連柱には、しめ縄の笠竹、幟の竿、燈明架の 3 点が結びつけられる。



常夜燈

鎮 座：岡山市中区海吉 1384 番地（通称「丸端（まるはな）」の市有地）
来 歴：吉備津岡辛木神社の参道入り口に位置し、天保 15 年（1844）の建立である。
材 質：花崗岩
形 状：すべて左右対称、ほぼ正方形である。

常夜燈寸法図（単位：cm）





※ 詳細は「(2) 富山学区の地神様」に記載している。
出村丸端台地の石碑 終わり